

社団法人 日本電子顕微鏡学会

■2001年7月31日発行

■〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9  
(財)日本学会事務センター内

■TEL: 03-5814-5801 ■FAX: 03-5814-5820

■E-mail: jsem@bcasj.or.jp

■URL: <http://www.bcasj.or.jp/jsem/>

## ◇学会名称の変更について

平成13年総会において、「①学会名称変更を行う ②「日本顕微鏡学会」を新学会名称第一候補とする ③関係省庁と相談し、①・②の事項を含めた定款変更を平成14年総会において議決する」が決議されました。

## ◇第58回学術講演会について

標記講演会が下記要領にて開催されます。多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。募集要項等詳細は11月末発行予定の電子顕微鏡36巻3号に綴込・掲載の予定です。

会期：2002年5月14日(火)～16日(木)

(当初の日程を1日繰り上げています。ご注意ください。)

会場：大阪国際交流センター

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6

TEL: 06-6772-6729

実行委員長：森博太郎(大阪大学超高压電子顕微鏡センター)

〒565-0871 吹田市山田丘2-1

TEL: 06-6879-7941 FAX: 06-6879-7942

E-mail: mori@uhvem.osaka-u.ac.jp

問い合わせ先：同上

## ◇第47回学会賞(瀬藤賞)受賞候補者の募集

第47回学会賞(瀬藤賞)受賞候補者の推薦を公募します。推薦用紙の請求、手続きの詳細は事務局へ書面にてご連絡下さい。推薦締切は本年8月末日です。

## ◇第17回論文賞候補論文の募集

第17回論文賞受賞候補論文の推薦を公募します。推薦方法は過去2年間の学会誌(「電子顕微鏡」34・35巻、「JEM」48・49巻)に掲載された論文が対象となっています。推薦用紙の請求、手続きの詳細は事務局へ書面にてご連絡下さい。推薦の締切は本年8月末日です。論文賞推薦にあたっては①学会賞(瀬藤賞)論文でないこと、②英文・和文にかかわら

ずオリジナリティーを重視することとなっています。

## ◇第7回技術功労賞候補者の募集

故神谷芳弘先生からの寄付をもとに平成8年度から電子顕微鏡応用技術の進歩発展に関し、優れた功労のある方に技術功労賞を授与しています。本賞受賞候補者の推薦を公募します。推薦用紙の請求、手続きの詳細は事務局へ書面にてご連絡下さい。推薦の締切は本年8月末日です。

## ◇第3回奨励賞候補者の募集

故深井孝之助先生からの寄付をもとに電子顕微鏡学および顕微鏡法研究にかかわる若手研究者奨励のため、平成13年度から奨励賞を授与しています。本賞受賞候補者の推薦を公募します。受賞対象者は推薦募集締切日(推薦締切：本年8月末日)において満40歳未満となっています。推薦用紙の請求、手続きの詳細は事務局へ書面にてご連絡下さい。

## ◇研究部会申請の案内

平成14年度研究部会申請希望者は学会事務局へ書面にて9月末日までにご連絡下さい。(本年度は分科会の募集は行いません)。

## ◇顧問の委嘱

平成13年度第1回理事会において石川春律前会長を顧問に委嘱しました。

## ◇委員の委嘱

2001・2002年 JEM 編集委員

編集委員長：田中通義 副編集委員長：澤田 元

専任委員：津野勝重、倉田博基、高柳邦夫、竹田精治、松井良夫、牛木辰男、山科正平、長船哲齊、佐々木崇寿、西山彌生。

2001・2002年度技術認定委員

委員長：大野伸一、委員：安達公一、牛木辰男、大下昭憲、

後藤俊幸, 高田邦昭, 広畑泰久, 二重作豊, 屋代  
隆, 山口正視, 吉塚光明。(技術認定試験委員  
については理事会申し合わせにより掲載していま  
せん)

\*和文誌編集委員については平成12年度第4回理事会議事要  
旨・第5回理事会議事要旨・後付を参照してください。

#### ◇平成13年度支部長

北海道支部: 脇田 稔(北海道大学)  
関東支部: 板東義雄(物質・材料研究機構)  
関西支部: 石村和敬(徳島大学)  
九州支部: 永山在明(福岡大学)

#### ◇第11回電子顕微鏡大学講義テキスト・第57回学術講 演会発表要旨集の頒布

第11回電子顕微鏡大学テキスト(5,000円)・第57回学術  
講演会発表要旨集(3,500円)の頒布希望のかたは下記へご  
連絡下さい。

申込先: 〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9  
(財)日本学会事務センター 事業部  
TEL: 03-5814-5811 FAX: 03-5814-5822  
E-mail: sub@bcasj.or.jp

#### ◇第57回学術講演会写真コンクールについて

金賞「Photo 04 春の訪れ」Jim Stetz<sup>1</sup>, Vern Robertson<sup>2</sup>,  
松島英輝<sup>3</sup>, 小倉一道<sup>3</sup> (<sup>1</sup>Air Products Inc., <sup>2</sup>JEOL  
U.S.A Inc., <sup>3</sup>日本電子)

銀賞「Photo 10 フロンティア」田中孝治<sup>1</sup>, 林 眞弓<sup>1</sup>, 谷  
野吉弥<sup>2</sup>, 林田 薫<sup>3</sup> (<sup>1</sup>産業技術総合研究所, <sup>2</sup>日本ビラー  
工業所, <sup>3</sup>フィリップス エレクトロニクス)

銅賞「Photo 11 イエバエの口は O157 の快適空間」齋藤典  
子<sup>1</sup>, 小林陸生<sup>2</sup> (<sup>1</sup>国立感染症研究所電顕室, <sup>2</sup>昆虫医科  
学部)

#### ◇内規の改正について

「支部割当金に関する内規」

第1条 支部規程第12条に定める支部割当金額は当該会計年  
度の2年前の正会員会費収入額の10% (改正前: 15  
%) とする

(平成12年度第4回理事会: 3月24日改正)

#### ◇関係学協会の案内

##### 1) 第41回真空夏季大学

期 日: 2001年8月22日(水)~25日(土)  
会 場: ホテル富士見ハイツ(静岡県田方郡伊豆長岡町)  
問い合わせ先: 日本真空協会  
TEL: 03-3431-4395

##### 2) 第42回真空に関する連合講演会

期 日: 2001年10月17日(水)~19日(金)  
会 場: 機械振興会館(東京都港区)  
問い合わせ先: 日本真空協会  
TEL: 03-3431-4395

##### 3) 3rd international Symposium on Atomic Level Characterizations for New Materials and Devices '01

期 日: 2001年11月11日(日)~14日(水)  
会 場: 奈良県新公会堂  
問い合わせ先: ALC '01 実行委員会 Secretary  
安江常夫(大阪電気通信大学)  
TEL: 072-824-1131  
E-mail: yasue@isc.osakac.ac.jp

##### 4) 第10回日本バイオイメージング学会学術集会

期 日: 2001年10月10日(水)~12日(金)  
会 場: 国立感染症研究所(東京都新宿区)  
問い合わせ先: 国立感染症研究所 鈴木和男  
TEL: 03-5285-1111 内線2329  
URL: <http://www.nih.go.jp/niid/bioimaging/>

##### 5) VACUUM 2001-真空展

期 日: 2001年9月12日(水)~14日(金)  
会 場: 東京ビックサイト(東京都江東区有明)  
問い合わせ先: (株)シー・エヌ・ティ  
TEL: 03-5297-8855

URL: <http://www.cnt-inc.co.jp/exhibit/vacuum/>

##### 6) 第8回エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装 技術シンポジウム

期 日: 2002年1月31日(木)~2月1日(金)  
会 場: パシフィコ横浜会議センター  
問い合わせ先: 溶接学会 Mate 2002 事務局  
TEL: 03-3253-0488

URL: <http://www.soc.nacsis.ac.jp/jws/research/micro/Mate2002.html>

##### 7) 10th Scientific Conference & 11th Annual General Meeting Electron Microscopy Society of Malaysia

期 日: 2001年11月8日(木)~10日(土)  
会 場: Palace of the Golden Horses, Mines Resort City,  
Kuala Lumpur, Malaysia

問い合わせ先: Secretariat & Scientific Programmes  
Dr. Hing Hiang Lian, Secretary,  
10th Scientific Conference of EMSM  
c/o Electron Microscope Unit,  
Faculty of Science & Technology,  
Universiti Kebangsaan Malaysia,  
43600 UKM Bangi, Selangor D.E. Malaysia  
TEL: 603-40405617, 89293336  
FAX: 603-89293249  
E-mail: hhlian@medic.ukm.my  
normala@pkriscc.ukm.my

## ◇研究奨励金及び風戸研究奨励賞公募のご案内

本年度も風戸研究奨励会より下記のように奨励金公募の通知がきております。交付ご希望の方は同財団宛に申し込み用紙をご請求下さい。

### 1) 平成13年度風戸研究奨励金

#### I. 風戸研究奨励金（研究助成費）総額4,000,000円

- ・応募資格：原則として満40歳以下の研究者
- ・交付金額および件数：選考委員会の選考結果による（1件100万円以内で約4名に贈呈予定）
- ・応募締切：2001年12月末日（当日消印有効）
- ・選考結果：2002年2月下旬に各応募者に連絡予定（奨励金の送付は2002年3月上旬予定）
- ・申込用紙：風戸研究奨励金申込書を下記連絡先へ請求

#### II. 必要書類（書留にて送付のこと）

- ①風戸研究奨励金申込書1通
- ②最近の主な論文3編の別刷各9部、但し、うち8部はコピーで可（写真はオリジナルと同等のものを提出）
- ③推薦状1通
- ④履歴書1通
- ⑤業績リストと主要な業績の説明1通

#### III. 本奨励金による研究発表論文中には ACKNOWLEDGMENT を明記。

### 2) 風戸研究奨励賞

風戸研究奨励金受賞者の中で「応募の研究内容、業績リスト」をもとに選考委員会において、これまでの研究が優れた業績に値すると認められ、さらに今後の研究成果が期待できると評価された研究者に風戸奨励賞を選考し、賞状を授与。

連絡先：〒196-8558 東京都昭島市武蔵野3-1-2  
日本電子株式会社内 財団法人風戸研究奨励会  
事務局 高橋正行

TEL: 042-542-2106 FAX: 042-546-3353

### 3) 風戸研究奨励金（国際会議発表研究費助成）

#### I. 風戸研究奨励金（国際会議発表研究費助成）

総額3,000,000円 約20~30名を予定

- ・対象会議：①第15回国際電子顕微鏡学会議（2002年9月1日～6日：南アフリカ ダーバン）  
②上記以外に平成14年度に海外で開催される国際的な会議で内容が電子顕微鏡並びにその技術の研究及び応用に関連する会議
- ・応募資格：対象の国際的な会議での研究発表
- ・交付金額および件数：選考委員会の選考結果による
- ・応募期間：2001年7月1日から2002年4月30日（当日消印有効）
- ・選考結果：2002年6月初旬もしくは中旬に各応募者に連絡予定（奨励金の送付は2002年7月上旬予定）
- ・申込用紙：風戸研究奨励金申込書を下記連絡先へ請求

#### II. 必要書類（書留にて送付のこと）

①風戸研究奨励金申込書（国際会議発表研究費助成）1通  
②対象の国際的な会議の内容が判る案内、パンフレット等の写1通（対象会議が第15回国際電子顕微鏡学会議の場合は不要）

③対象の国際的な会議で発表される予定論文の予稿（コピー）もしくはそれに相当するもの（予定論文の概要）1通

④推薦状1通

連絡先：日本電子株式会社内 財団法人風戸研究奨励会  
事務局 高橋正行（上記参照）

## ◇平成13・14年度役員

先に行われました選挙結果のもと、平成13年度総会において以下の会員が役員に選出されました。

会長：飯島澄男

副会長：井出千東

常務理事：古屋一夫、大野伸一、森博太郎、脇田 稔

理事：石村和敬、石川 晃、猪口哲夫、長舩哲齊、倉田博基、後藤俊幸、鈴木季直、田中信夫

監事：高田邦昭、内山安男

## ◇平成13・14年度評議員

先に行われました選挙の結果、以下の会員が評議員に選出されました。

### 《北海道支部》

阿部和厚、井上芳郎、宇尾基弘、大貫惣明、工藤隆一、平 義樹、高橋平七郎、武田正子、武沢和義、竹花一成、辰巳治之、橋本善春、藤川清三、亙理文夫

### 《関東支部》

相川英三、相磯貞和、朝倉健太郎、安達公一、五十嵐芳夫、幾原雄一、砂子沢成人、石川春律、石田宏一、石塚和夫、石原信一、市野瀬英喜、井野正三、井上金治、今市涼子、岩槻正志、上田 修、牛木辰男、江尻貞一、及川哲夫、大阪敏明、大島義文、大隅正子、大塚和弘、岡山重夫、小倉一道、長村義之、小野昭成、柿林博司、片山栄作、加藤 勝、上野武夫、川上速人、岸田晴雄、木村利昭、黒岩常祥、小池紘民、甲本忠史、神山宣彦、小暮敏博、近藤俊三、近藤尚武、近藤行人、坂井建雄、佐々木克典、佐々木崇寿、佐藤眞美子、澤田 元、進藤大輔、杉山昌章、鈴木二美枝、鈴木英紀、関口隆史、関矢加智子、副島啓義、高野吉郎、高橋一郎、高柳邦夫、立花利公、田中通義、千葉胤道、寺内正己、寺崎 治、外崎 昭、外村 彰、永田文男、永谷 隆、永野俊雄、中村泰尚、中村澄夫、中村裕昭、西山彌生、馬場則男、原田嘉晏、板東義雄、平賀賢二、平坂雅男、平野 寛、廣川信隆、廣澤一成、広瀬治子、広畑泰久、福島球琳男、藤井智之、藤田恒夫、二重作豊、堀内繁雄、本田敏和、松井良夫、松畑洋文、宮澤七郎、村上 悟、村越正典、矢崎和盛、屋代 隆、

安田寛基, 八瀬清志, 山口正視, 山科正平, 山野秀二,  
山本直紀, 依藤 宏, 若林健之, 渡辺 徹, 渡辺 皓  
《関西支部》

有井達夫, 石井裕子, 飯野晃啓, 生田 孝, 井関尚一,  
磯田正二, 伊藤 孝, 伊東隆夫, 井上貴央, 井端泰彦,  
乾 晴行, 上田裕清, 白倉治郎, 遠藤久満, 大谷 修,  
大下昭憲, 大槻勝紀, 小澤一史, 大嶋隆一郎, 片岡勝子,  
覚道健一, 北野保行, 楠見明弘, 熊尾章宏, 黒田光太郎,  
神前 隆, 小松正雄, 後藤隆洋, 西城浩志, 坂 公恭,  
佐々木文彦, 佐々木順造, 志水隆一, 下山 宏, 芝原寛泰,  
角田直人, 杉山淳司, 助台栄一, 瀬口春道, 千田隆夫,  
高井義造, 鷹岡昭夫, 高須伸夫, 高屋憲一, 竹田精治,  
丹司敬義, 永山国昭, 仲井清眞, 中西テツ, 西野武志,  
波多江種宣, 日比野倫夫, 平井圭一, 平山 司, 弘津禎彦,  
藤田 稔, 藤本 和, 藤本豊土, 藤吉好則, 松浦忠夫,  
溝口 明, 村上宅郎, 森岡宏行, 山田作夫, 和田多佳志,  
渡辺 淳

#### 《九州支部》

兩宮次生, 飯島忠彦, 上原清子, 小川皓一, 加藤征治,  
木下智見, 桑野範之, 柴田洋三郎, 島田達生, 菅沼龍夫,  
高野邦雄, 津山新一郎, 年森清隆, 友清芳二, 土肥良秋,  
中村桂一郎, 永山在明, 藤田 守, 藤本 淳, 松村 晶,  
村田長芳, 安澄文興, 山元寅男, 吉塚光明

#### 《理事会》

一宮彪彦, 五十嵐信行, 伊藤悦朗, 伊東丈夫, 佐藤 馨,  
佐藤洋一, 塩尻 詢, 竹安邦夫, 津野勝重, 長岡政男,  
畑 俊夫, 北條喜一, 堀田善治, 光岡 薫, 渡辺精一

### ◇平成12年度会務報告および収支決算

#### 1. 平成12年通常総会

平成12年5月18日, 北とびあ(東京都北区)において, 以下  
の議題について審議し, 決議された。

- 1) 平成11年度事業報告の件
- 2) 平成11年度収支決算報告の件
- 3) 平成12年度事業計画の件
- 4) 平成12年度収支予算の件
- 5) 名誉会員推薦の件
- 6) 学会名称変更の件
- 7) 2006年国際電子顕微鏡学会議立候補の件(2004年アジア・太平洋電子顕微鏡学会議に関する報告含)
- 8) 会費滞納者除名の件
- 9) 役員選任の件

#### 2. 役員

1) 平成12年通常総会において, 本学会役員が次のように  
決定し, 平成12年度の会務はこれらの役員によって行われた。

会 長: 石川春律

副会長: 飯島澄男

常務理事(庶務担当): 牛木辰男, 古屋一夫

(会計担当): 西山彌生, 森博太郎

理 事: 井上芳郎, 砂子沢成人, 長船哲齊, 藤吉好則, 白  
倉治郎, 田中信夫, 村田長芳, 市野瀬英喜, 弘津  
禎彦, 畑 俊夫

監事: 坂 公恭, 高田邦昭

なお, 平成12年度会長: 平野 寛, 常務理事: 八瀬清志,  
下山 宏, 理事: 藤本豊土, 黒田光太郎, 井出千束, 内山安  
男, 監事: 永田文男の諸氏は退任した。

#### 2) 顧問の委嘱

第1回理事会において平野 寛前会長は顧問に推薦され  
た。

#### 3. 会員関係

1) 平成13年3月31日現在, 会員状況は次のとおりである。  
正会員数: 2,241名(海外会員15名, 永年会員29名, 学  
生59名含)

※支部別正会員数:	北海道支部	69名
	関東支部	1,212名
	関西支部	742名
	九州支部	203名

賛助会員: 77社(140口)

名誉会員: 26名(海外3名含)

#### 2) 会員異動

	入会数	退会数	除名 (会費滞納)
正 会 員	99名 (学生21名含)	97名 (学生3名含)	40名
賛助会員	0社	1社	—

#### 3) 逝去会員

高木 篤, 相原 薫, 星野善一郎, 内川嘉樹の4会員が逝  
去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

#### 4. 事 業

1) 第10回電子顕微鏡大学(企画委員長: 板東義雄)は  
平成12年4月19日(水)~20日(木)に東京大学山上会館(東  
京都文京区)で行われた。参加者は76名であった。

2) 第56回学術講演会(実行委員長: 板東義雄)は平成  
12年5月17日(水)~19日(金)に北とびあ(東京都新宿区)  
で行われた。演題等は467題, 参加者は949名であった。

3) 第11回電子顕微鏡サマースクール(実行委員長: 大  
野伸一)は平成12年8月23日(水)~25日(金)に山梨医科  
大学(山梨県中巨摩郡)で行われた。参加者は51名であった。

4) 第45回シンポジウム(実行委員長: 藤吉好則)は平  
成12年11月21日(火)~22日(水)に岡崎コンファレンスセ  
ンター, 岡崎国立共同研究機構職員会館(愛知県岡崎市)で  
行われた。参加者は104名であった。

5) 欧文誌“Journal of Electron Microscopy”は第49巻  
2~6号および第50巻1号(編集委員長: 田中通義)を発行,  
709頁であった。

6) 和文誌「電子顕微鏡」は第35巻: 2~3号および第  
36巻1号(編集委員長: 弘津禎彦)を発行, 262頁であった。

7) 会報は3回・52頁(和文誌「電子顕微鏡」へ綴じ込

み)を発行した。

- 8) 第56回学術講演会プログラム (50頁) を発行した。
- 9) 第56回学術講演会発表要旨集 (499頁) を発行した。
- 10) 第45回シンポジウムプログラム (14頁) を発行した。
- 11) 第45回シンポジウム論文集 (81頁) を発行した。
- 12) 日本電子顕微鏡学会学会賞 (瀬藤賞)

第45回委員会 (委員長 日比野倫夫) は内規に基づき候補者推薦に関する協議を行った。第46回委員会 (委員長 平野寛) は、候補者について審議し、第3回理事会は平成13年度受賞者を決定した (受賞者は会報2001 No. 1, 4頁参照)。

13) 論文賞

第15回委員会 (委員長 平賀賢二) は内規に基づき候補論文推薦に関する協議を行った。第16回委員会 (委員長 外村彰) は、候補論文について審議し、第3回理事会は平成13年度授賞論文を決定した (授賞論文は会報2001 No. 1, 4頁参照)。

14) 技術功労賞

第5回委員会 (委員長 堀内繁雄) は候補者推薦に関する協議を行った。第6回委員会 (委員長 大隅正子) は、候補者について審議し、第3回理事会は平成13年度受賞者を決定した (受賞者は会報2001 No. 1, 4頁参照)。

15) 奨励賞

第1回委員会 (委員長 友清芳二) は候補者推薦に関する協議を行った。第2回委員会 (委員長 小林隆史) は、候補者について審議し、第3回理事会は平成13年度受賞者を決定した (授賞者は会報2001 No. 1, 4頁参照)。

16) 電子顕微鏡技術認定試験

電子顕微鏡技術認定委員会 (認定委員長: 長船哲齊) は本学会主催、日本臨床電子顕微鏡学会協賛で次の技術認定試験を行った。

第23回一般技術および第22回特殊技術認定試験

期 日: 2001年10月14日

会 場: 慈恵医大, 大阪医大, 久留米大

一般技術 (生物) 特殊技術 (生物)

受 験 者 数: 20名 7名

認 定 登 録 者: 14名 1名

17) 研究部会

下記の14テーマの研究部会が承認され、活動した ( ( ) 内は責任者)。

- ①生物試料解析のための走査型プローブ顕微鏡法研究部会 (伊藤悦朗)
- ②電子顕微鏡による照射効果研究部会 (保田英洋)
- ③ナノ構造形成の安定性と時間分解画像解析研究部会 (一宮彰彦)
- ④新しい顕微鏡法を中心とした病態解析研究部会 (長村義之)
- ⑤カソードルミネッセンス研究部会 (一色俊之)
- ⑥高性能電子顕微鏡技術研究部会 (高井義造)

- ⑦高分子材料研究部会 (甲本忠史)
- ⑧生物・医学マイクロビームアナリシスの広い応用性を持つ研究方法開発研究部会 (高屋憲一)
- ⑨SEM 応用技術研究部会 (小野昭成)
- ⑩先端プロセス評価研究部会 (平坂雅男)
- ⑪電顕技術フォーラム研究部会 (広畑泰久)
- ⑫電子顕微鏡による光・電子デバイス材料の解析研究部会 (桑野範之)
- ⑬微生物研究部会 (後藤俊幸)
- ⑭分析電子顕微鏡研究部会 (堀田善治)

平成12年度収支決算

収支計算書

(平成12年4月1日~平成13年3月31日)

収入の部

(単位: 円)

科 目	予算額	決算額	差 異
基本財産収入	50,000	32,499	17,501
基本財産利息収入	50,000	32,499	17,501
会費・入金会収入	30,300,000	28,861,025	1,438,975
正会員会費収入	21,500,000	20,446,025	1,053,975
賛助会員会費収入	8,700,000	8,340,000	360,000
入金会収入	100,000	75,000	25,000
事業収入	41,650,000	49,501,861	△7,851,861
学会誌購読料収入	12,550,000	12,087,064	462,936
JEM 電子顕微鏡	12,000,000 550,000	11,543,419 543,645	456,581 6,355
学会誌論文掲載・別刷代収入	2,000,000	3,740,746	△1,740,746
JEM 電子顕微鏡	1,500,000 500,000	3,088,428 652,318	△1,588,428 △152,318
学会誌広告料収入	3,800,000	3,513,948	286,052
JEM 電子顕微鏡	800,000 3,000,000	590,369 2,923,579	209,631 76,421
講演会等収入	22,650,000	29,654,603	△7,004,603
学術講演会 シンポジウム サマースクール 電子顕微鏡大学	13,900,000 3,300,000 3,150,000 2,300,000	19,572,296 3,775,735 4,170,272 2,136,300	△5,672,296 △475,735 △1,020,272 163,700
技術認定収入	650,000	505,500	144,500
補助金収入	8,500,000	8,744,013	△244,013
刊行補助金収入	8,500,000	8,500,000	0
科学研究費補助金 内藤記念刊行助成金	7,500,000 1,000,000	7,500,000 1,000,000	0 0
学術振興金収入	0	244,013	△244,013
寄付金収入	0	200,000	△200,000
50周年記念事業寄付金	0	200,000	△200,000
雑収入	400,000	804,665	△404,665
受取利息収入 雑収入	100,000 300,000	63,185 741,480	36,815 △441,480
積立預金取崩収入	11,589,000	1,589,000	10,000,000
学術振興積立預金取崩収入	11,589,000	1,589,000	10,000,000

注 記 事 項

1. 重要な会計方針

資金の範囲について

流動資産及び流動負債である。

2. 基本財産の増減額及びその残高は次のとおりである。

科目	前期末残高	増加額	減少額	当期末残高
貸付信託	10,000,000	0	0	10,000,000

3. 次期繰越収支差額は次のとおりである。

	前期末残高	当期末残高
流 動 資 産	38,944,757	33,565,917
流 動 負 債	26,190,258	25,898,854
差 引	12,754,499	7,667,063

4. 正味財産の内訳は次のとおりである。

科 目	当期末残高
基本金	10,000,000
60周年記念事業費積立預金	801,944
国際会議関係預金	4,600,000
国際会議積立預金	3,105,609
名簿刊行事業積立預金	4,000,000
学術振興積立預金	13,523,194
選挙管理費積立預金	150,000
その他	7,667,063
正味財産合計	43,847,810

財 産 目 録

(平成13年3月31日現在)

I. 資産の部

(単位：円)

科 目	摘 要	金 額
流動資産		33,565,917
現金	和文誌編集委員会	22,643
預け金	財団法人日本学会事務センター	△803,838
普通預金	中央三井信託銀行日本橋営業部	351,818
"	住友銀行豊中支店	360,700
"	三菱信託銀行上野支店	9,834
定期預金	中央三井信託銀行日本橋営業部	10,120,803
金銭信託	中央三井信託銀行日本橋営業部	997,504
"	三菱信託銀行上野支店	13,005,228
貸付信託	中央三井信託銀行日本橋営業部	3,850,000
立替金	第57回学術講演会	2,500,000
	第11回電子顕微鏡大学	100,000
	第12回電子顕微鏡サマースクール	100,000
前払金	JEM 発行事業費 (編集費)	822,550
"	管理費 (通信費：2001年度会費 請求書発送郵税)	137,360
"	管理費 (雑費：外為送金手数料)	35,500
未収入金	JEM: Oxford University Press 精算金*1	1,064,491
"	和文誌36巻1号広告料収入	891,324

固定資産		36,180,747
基本財産		
貸付信託	中央三井信託銀行日本橋営業部	10,000,000
その他の 固定資産		
定期預金	中央三井信託銀行日本橋営業部	22,123,194
"	第一勧業銀行本郷支店	4,057,553
資産合計		69,746,664

II. 負債の部

(単位：円)

科 目	摘 要	金 額
流動負債		25,898,854
未払金	JEM 会員購読料*2	15,339,840
"	JEM editorial cost*2	2,000,000
"	和文誌発行事業費 36巻1号製作費	2,035,924
"	和文誌発行事業費 36巻1号送料	318,590
前受会費	平成13年度正会員会費	5,035,000
"	平成13年度正会員入会金	20,000
"	平成13年度正会員 (学生) 会費	114,000
"	平成14年度以降会費	35,500
前受金	刊行補助金 (内藤記念財団)	1,000,000
負債合計		25,898,854
正味財産合計		43,847,810
負債及び正味財産合計		69,746,664

\*1：平成13年3月30日の為替相場にて換算

\*2：平成13年4月5日に支払いを行っているため、実際の支払い額を計上

◇平成13年度事業計画および収支予算

1. 学術講演会、シンポジウム等の開催

1) 第11回電子顕微鏡大学 (企画委員長：飯島澄男) は平成13年4月19日 (水)～20日 (木) に東京大学山上会館 (東京都文京区) において開催。

2) 第57回学術講演会 (実行委員長：柴田洋三郎) は平成13年5月10日 (木)～12日 (土) にアクロス福岡 (福岡市) において開催。

3) 第12回電子顕微鏡サマースクール (実行委員長：佐藤洋一) は平成13年8月22日 (水)～24日 (金) に岩手医科大学 (岩手県盛岡市) において開催。

4) 第46回シンポジウム (実行委員長：古屋一夫) は平成13年11月14日 (水)～16日 (金) にて物質・材料研究機構 (つくば市) において開催。

2. 学会誌、会報等の発刊

1) 欧文誌 "Journal of Electron Microscopy" (編集委員長：田中通義) は第50巻2号～6号, 51巻1号を刊行

2) 和文誌「電子顕微鏡」(編集委員長：弘津禎彦) は第36巻2号～3号, 37巻1号を刊行

3) 会員名簿 (電子顕微鏡 supplement) を刊行

4) 会報は「電子顕微鏡」へ綴じ込みにて年3回刊行予定

3. 事 業

1) 賞の授与：平成13年5月11日 (金) (於：通常総会)  
第46回日本電子顕微鏡学会学会賞 (瀬藤賞)・第16回論文賞・第6回技術功労賞・第2回奨励賞

2) 電子顕微鏡技術認定試験(認定委員長:大野伸一)  
平成13年10月13日に第24回一般技術および第23回特殊技術  
を東京、大阪、福岡の各地で実施予定

3) 分科会(6件)…( )内は世話人

- ①ニューマイクロスコブ分科会 (長村義之)
- ②分析電子顕微鏡分科会 (堀田善治)
- ③高分解能電子顕微鏡分科会 (市野瀬英喜)
- ④走査電子顕微鏡分科会 (小野昭成)
- ⑤生体構造解析分科会 (光岡 薫)
- ⑥デバイス解析分科会 (桑野範之・平坂雅男)

4) 研究部会(5件)…( )内は世話人

- ①SPMによる細胞の構造・物性のインテグレーション研究部会 (竹安邦夫)
- ②生物・医学試料へのイオン顕微鏡の応用研究部会(高屋憲一)
- ③新しい固定技法による微生物の形態解析研究部会(山田作夫)
- ④試料作製技術研究部会 (坂 公恭)
- ⑤電子顕微鏡による照射効果研究部会 (渡辺精一)

4. 委員会…( )内は委員長

- ①欧文誌編集委員会(田中通義)平成14年12月末日まで
- ②和文誌編集委員会(弘津禎彦)平成14年3月末日まで
- ③技術認定委員会(大野伸一)平成15年3月末日まで
- ④第46回日本電子顕微鏡学会学会賞(瀬藤賞)選考委員会(平野 寛)平成13年12月末日まで
- ⑤第16回論文賞選考委員会(外村 彰)平成13年12月末日まで
- ⑥第6回技術功労賞選考委員会(大隅正子)平成13年12月末日まで
- ⑦第2回奨励賞選考委員会(小林隆史)平成13年12月末日まで
- ⑧第57回学術講演会実行委員会(柴田洋三郎)平成13年12月末日まで
- ⑨第58回学術講演会実行委員会(森博太郎)平成14年12月末日まで
- ⑩第46回シンポジウム実行委員会(古屋一夫)平成13年12月末日まで
- ⑪第12回電子顕微鏡サマースクール実行委員会(佐藤洋一)平成13年12月末日まで
- ⑫第11・12回電子顕微鏡大学企画委員会(飯島澄男)平成14年12月末日まで
- ⑬学術運営委員会(井出千束)平成15年総会まで

平成13年度収支予算

収支予算書

(平成13年4月1日~平成14年3月31日)

収入の部

(単位:円)

	12年度予算額	13年度予算額	差 異
基本財産収入	50,000	30,000	△20,000
基本財産利息収入	50,000	30,000	△20,000
会費・入会金収入	30,300,000	28,620,000	△1,680,000
正会員会費収入	21,500,000	20,060,000	△1,440,000
賛助会員会費収入	8,700,000	8,460,000	△240,000
入会金収入	100,000	100,000	0
事業収入	41,650,000	26,670,000	△14,980,000
JEM誌収入	14,300,000	0	△14,300,000
購読料収入	12,000,000	0	△12,000,000
論文掲載・別刷代収入	1,500,000	0	△1,500,000
広告料収入	800,000	0	△800,000
和文誌収入	4,050,000	4,050,000	0
購読料収入	550,000	550,000	0
論文掲載・別刷代収入	500,000	500,000	0
広告料収入	3,000,000	3,000,000	0
名簿広告料収入	0	1,000,000	1,000,000
講演会等収入	22,650,000	21,070,000	△1,580,000
学術講演会	13,900,000	14,020,000	120,000
シンポジウム	3,300,000	3,700,000	400,000
サマースクール	3,150,000	1,350,000	△1,800,000
電子顕微鏡大学	2,300,000	2,000,000	△300,000
技術認定収入	650,000	550,000	△100,000
補助金収入	8,500,000	8,500,000	0
刊行補助金収入	8,500,000	8,500,000	0
科学研究費補助金	7,500,000	7,500,000	0
内藤記念刊行助成金	1,000,000	1,000,000	0
学術振興金収入	0	0	0
雑収入	400,000	300,000	△100,000
受取利息収入	100,000	50,000	△50,000
雑収入	300,000	250,000	△50,000
積立預金取崩収入	11,589,000	4,100,000	△7,489,000
名簿刊行事業積立預金取崩収入	0	3,000,000	3,000,000
学術振興積立預金取崩収入	11,589,000	1,100,000	△10,489,000
当期収入合計	92,489,000	68,220,000	△24,269,000
前期繰越収支差額	12,754,499	7,667,063	△5,087,436
収入合計	105,243,499	75,887,063	△29,356,436

支出の部

(単位:円)

	12年度予算額	13年度予算額	差 異
JEM発行事業費	29,600,000	11,300,000	△18,300,000
製作費	20,000,000	0	△20,000,000
学会誌購入費	0	7,000,000	7,000,000
超過頁費用	0	700,000	700,000
編集費	1,200,000	1,200,000	0
編集委員会費	400,000	400,000	0
送料	4,500,000	2,000,000	△2,500,000
業務委託費	3,500,000	0	△3,500,000
和文誌発行事業費	8,950,000	7,400,000	△1,550,000

製作費	5,600,000	4,500,000	△1,100,000
編集費	1,450,000	1,450,000	0
編集委員会費	600,000	600,000	0
送料	1,300,000	850,000	△450,000
会報発行事業費	0	600,000	600,000
講演会等事業費	26,950,000	24,470,000	△2,480,000
学術講演会	17,400,000	16,520,000	△880,000
シンポジウム	4,100,000	4,400,000	300,000
サマースタール	3,150,000	1,450,000	△1,700,000
電子顕微鏡大学	2,300,000	2,100,000	△200,000
技術認定事業費	1,180,000	900,000	△280,000
認定委員会費	650,000	450,000	△200,000
認定事業費	530,000	450,000	△80,000
支部活動・その他事業費	5,499,242	3,846,798	△1,652,444
支部割当金	3,270,242	2,126,798	△1,143,444
学会賞(瀬藤賞)選考費	320,000	320,000	0
論文賞選考費	110,000	90,000	△20,000
技術功労賞選考費	70,000	70,000	0
奨励賞選考費	70,000	70,000	0
分科会・研究会補助金	1,589,000	1,100,000	△489,000
国際連合負担金	70,000	70,000	0
管理費	12,960,000	12,800,000	△160,000
会議費	810,000	450,000	△360,000
旅費・交通費	1,150,000	1,250,000	100,000
通信費	800,000	650,000	△150,000
印刷費	900,000	750,000	△150,000
選挙管理費	300,000	0	△300,000
雑費	900,000	900,000	0
業務委託費	8,100,000	8,800,000	700,000
特別事業費	30,000	4,060,000	4,030,000
会員名簿刊行費	0	4,000,000	4,000,000
金属工学研連補助金	0	30,000	30,000
解剖学研連補助金	30,000	30,000	0
積立金預金支出	1,570,000	2,560,000	990,000
60周年記念事業費積立預金	400,000	400,000	0
国際会議関係預金	0	500,000	500,000
国際会議積立預金	0	500,000	500,000
名簿刊行事業積立預金	1,000,000	700,000	△300,000
特定預金積立金	20,000	10,000	△10,000
学術振興積立預金	0	0	0
選挙管理費積立預金	150,000	450,000	300,000
租税公課	200,000	200,000	0
雑損失	0	0	0
予備費	500,000	500,000	0
当期支出合計	87,439,242	68,636,798	△18,802,444
当期収支差額	5,049,758	△416,798	△5,466,556
次期繰越収支差額	17,804,257	7,250,265	△10,553,992

## ◇平成12年度支部活動と会計報告

### 《北海道支部》

#### I. 事業報告

##### 1. 支部総会・学術講演会

日時：平成13年2月10日(土)

場所：北海道大学大学院医学研究科臨床講義棟大講堂

一般演題 14題

特別講演 2題

- ・「方位配向 FePt, FePd 規則合金ナノ粒子の構造と磁性」  
大阪大学産業科学研究所 弘津禎彦
- ・「神経の再生」 京都大学大学院医学研究科 井出千東

##### 2. 支部役員会

第一回役員会・第二回役員会

北海道大学大学院医学研究科

##### 3. 研究会・講演会

超高圧電顕研究会

平成13年3月14・15日

北海道大学大学院工学研究科

## II. 会計報告

(単位：円)

### 収入の部

科目	予算額	決算額
支部割当金	477,841	457,716
雑収入	200	70
前年度繰越金	41,959	46,237
合計	520,000	504,023

### 支出の部

科目	予算額	決算額
総会・学術講演会	420,000	406,858
研究会・講演会費	70,000	30,000
会議費	5,000	0
交通費	15,000	5,000
通信費	5,000	5,600
予備費	5,000	0
合計	520,000	447,458

### 《関東支部》

#### I. 事業報告

##### 1. 平成12年度関東支部役員

支部長：澤田 元 (横浜市大)

副支部長：板東義雄 (無機材研)

庶務幹事：大野伸一 (山梨医大)

会計幹事：関口隆史 (金材技研)

指名幹事：尾野道男 (横浜市大)

監事：井上金治 (埼玉大理)

石田宏一 (帝京科学大理工)

##### 2. 関東支部第25回講演会・総会・評議員会

日時：平成13年3月17日(土) 9:30~19:00

場所：日本女子大学八十年館B棟5階851番教室

B棟4階841番教室 (ポスター&クロストークン  
グ)

実行委員長：関口隆史 (金材技研)

##### 3. 電子顕微鏡試料作製・観察実技講習会

生物試料超薄切片法 (医・生物) 2名

走査電子顕微鏡試料作製法 (医・生物) 2名

(うち学生1名)



電顕組織細胞化学 (医・生物)	2名
断面高分解能観察用試料の作製と観察	2名
分析電子顕微鏡の基礎と応用 (医・生物/材料)	3名
高分解能電子顕微鏡観察法 (セラミックス)	1名
高分子材料の電子顕微鏡試料作製法 (共通)	2名
共焦点レーザー顕微鏡 (医・生物)	3名
計	17名

4. 幹事会・常任幹事会を開催した。

幹事会：5月6日，9月16日，12月2日

常任幹事会：4月15日，5月6日，9月16日，12月2日

5. 支部報を発行した。(7月ホームページ掲載，1月支部報配付)

6. 支部企画出版 走査電子顕微鏡 (平成12年6月発行)

7. 平成13，14年度本部役員候補者の選出

- ・会長候補者は，飯島澄男氏 (NEC, 研究開発) を推薦
- ・理事候補者6名 (生物系3名・長船哲齊，大野伸一，鈴木季直，非生物系3名・古屋一夫，石川 晃，倉田博基) を推薦

8. 関東支部平成13年度 (2001年度) 役員の選出

平成12年12月の幹事会において選挙により支部長，副支部長を選出

支部長：板東義雄 (無機材研)

副支部長：山科正平 (北里大・医)

II. 会計報告

(単位：円)

収入の部

科目	予算額	決算額
繰越金	2,328,785	2,328,149
支部割当金	1,300,215	1,300,215
支部講演会収入	1,300,000	799,600
実技講習会収入	1,110,000	870,113
*雑収入	1,000	202,668
合計	6,040,000	5,500,745

\*雑収入・預金利息，昨年度未入金分，印税

支出の部

科目	予算額	決算額
通信費	500,000	543,845
行事費	200,000	0
会議費	300,000	152,302
交通費	700,000	703,500
印刷費	150,000	150,780
事務委託費	300,000	200,000
支部講演会	1,300,000	1,071,226
支部実技講習会	910,000	713,780
予備費	100,000	0
繰越充当金	1,580,000	1,965,312
合計	6,040,000	5,500,745

《関西支部》

I. 事業報告

1. 支部総会

日時：平成12年7月28日 (金) 13:00~13:30

場所：大阪大学银杏会館

議題：

1. 平成11年度事業報告および収支決算報告
2. 平成12年度事業計画および予算案
3. その他

2. 関西支部特別講演会

日時：平成12年7月28日 (金) 13:45~17:00

場所：大阪大学银杏会館

参加者：約50名

講演：

セッションI [座長 石村和敬 (徳島大・医)]

- ・知覚神経節細胞の形態変化と衛星細胞  
松田正司 (愛媛大・医)
- ・口腔顎顔面の組織発生における肝細胞増殖因子と受容体の局在と役割  
天野 修 (金沢大・医)
- ・ウィルス学における高分解能走査型電子顕微鏡  
宇野文夫 (新見公立短大)

セッションII [座長 大嶋隆一郎 (大阪府大・先端研)]

- ・Mg-Ni 系水素吸蔵非平衡物質の極微構造と機能  
北野保行 (島根大・総合理工)
- ・特異な電気・磁氣的性質を示す Mn 系ペロブスカイト酸化物の構造  
芝原寛泰 (京都教育大・教育)
- ・SiC 上カーボンナノチューブ膜の構造と機能  
楠 美智子 (ファインセラミックスセンター)

3. 外国人講演会

第1回：平成12年9月20日 (水)

富山大学工学部 (世話人：松田健二)

- ・Prof. Gary J. Shiflet バージニア大学材料工学専攻  
「Al 基ガラスにおける変形に参与した化学的及び構造的効果」

第2回：平成12年11月11日 (土)

名古屋大学工学 (世話人：坂 公恭)

- ・Dr. P.L. Gai デュボン研究所  
「Direct Atomic Scale Probing of Dynamic Gas Molecule-Solid-Liquid Reactions by Environmental-HRTEM (雰囲気高分解能 TEM による動的ガス分子-固体-液体反応の直接原子尺度プロービング)」
- ・Dr. John Hutchison オクスフォード大学材料学科  
「The Study of Solid State Reactions by Controlled Environment HREM (雰囲気制御高分解能 TEM による固相反応の研究)」

第3回：平成12年12月14日 (木)

大阪大学工学研究科材料系材料開発物性記念館

(世話人：森 博太郎)

・ Dr. Paul R. Okamoto (Argonne National Laboratory, U.S.A.)

「Application of Non-equilibrium Melting Concepts to Fracture Processes」

第4回：平成13年2月5日（月）

大阪大学産業科学研究所放射線実験所セミナー室

（世話人：弘津禎彦）

・ Prof. J.M. Zuo (Department of Materials Science and Engineering, Illinois University)

「Quantitative Electron Diffraction and Application to Materials Science」

第5回：平成13年2月15日（木）

名古屋大学工学研究科ベンチャービジネスラボラトリー

（世話人：田中信夫）

・ Prof. B. Jouffrey (Ecole de Central, Paris, France)

「フランスにおける先端材料の顕微鏡学的研究」 “On the use of electron and atomic force microscopes for a better understanding of some properties of nanotubes”

4. 電子顕微鏡技術研究会

日 時：平成12年12月8日（金） 10：00～17：00

場 所：大阪大学医学部銀杏会館 阪急・三和ホール

演題：

《チュートリアル》

(1) TEM 法による構造解析の基礎

（寺内正己・東北大学科学計測研究所）

(2) CL 法による電子状態解析の基礎

（大野 裕・大阪大学大学院理学研究科物理）

(3) 電子線ホログラフィーによる電場・磁場解析の基礎

（平山 司・（財）フェインセラミックスセンター試験研究所）

《応 用》

(4) ナノ半導体デバイスの電顕評価法

（広瀬幸範，橋川直人，福本晃二，益子洋治  
・三菱電機（株）ULSI 技術開発センター）

(5) LSI の新しい電顕観察法

（中島 蕃・NTT エレクトロニクス  
（株）LSI 事業本部 SA センター）

《トピックス》

(6) ナノ半導体表面の新しい定量評価法

（菅原康弘・大阪大学大学院工学研究科電子工学）

(7) 新しい電顕技術と半導体デバイス解析

（木村吉秀・大阪大学大学院工学研究科物質生命工学）

実行委員長 竹田 精治（大阪大学）

5. 役員会

1) 支部評議員会

日 時：平成12年7月28日（金） 12：00～13：00

場 所：大阪大学銀杏会館

2) 幹事会

第1回幹事会：

日 時：平成12年5月13日（土） 14：00～16：00

場 所：日本電子（株）大阪支店会議室

平成11年度事業・決算報告，平成12年度事業計画・予算案等

第2回幹事会：

日 時：平成12年7月28日（金） 11：00～12：00

場 所：大阪大学銀杏会館

平成12年度総会議事，その他

第3回幹事会：

日 時：平成12年12月9日（土） 14：00～16：00

場 所：日本電子（株）大阪支店会議室

平成13年度支部長・副支部長候補の選出，平成13年度本部役員・評議員候補者の選出，平成13年度支部評議員候補者の選出，その他

6. 本部役員・評議員候補の推薦

会 長：坂 公恭（名古屋大学）

理 事：石村和敬（徳島大学）

井出千東（京都大学）

後藤俊幸（大阪医科大学）

田中信夫（名古屋大学）

森博太郎（大阪大学）

監 事：内山安男（大阪大学）

評議員：72名選出

7. 支部評議員選挙：140名選出

8. 平成13年度支部長，副支部長選挙

支 部 長：石村和敬（徳島大学）

副支部長：下山 宏（名城大学）

9. 監査 平成13年4月10日

II. 会計報告

（単位：円）

収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額
補助金受け入れ		
支部割当金収入	958,931	958,931
受取利息	1,000	959
平成10年度特別講演会 テキスト代	0	1,500
当期収入合計	959,931	961,390
前期繰越収支差額	1,285,899	1,285,899
合 計	2,245,830	2,247,289

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額
支部事業費		
通 信 費	150,000	161,310
印 刷 費	70,000	54,425
事 務 費	100,000	91,619
会 場 費	50,000	55,868

会議費	50,000	40,740
総会費	50,000	49,000
交通費	400,000	214,940
外国人講演会費	100,000	100,000
研究会補助費	300,000	188,683
予備費	100,000	0
当期支出合計	1,370,000	956,585
次期繰越収支差額	875,830	1,290,704

《九州支部》

I. 事業報告

1. 第42回支部総会ならびに支部評議員会の開催

日時：平成12年12月2日

場所：久留米市久留米大学医学部

2. 学術講演会の開催

日時：平成12年12月2日

場所：久留米市久留米大学医学部

会長：吉塚光明（久留米大学医学部）

特別講演：

上野隆登（久留米大学先端癌治療研究センター）

3. 支部主催セミナーの開催

日時：平成12年6月10日

場所：大分医科大学

テーマ：SEM 技法の開発と応用

世話人：加藤征治（大分医科大学）

4. 第13回九州電子顕微鏡技術研究会

日時：平成12年8月26日

場所：新古賀病院（久留米市）

世話人：真鍋武志（九州大学超高压電子顕微鏡室）

5. 本部評議員候補者選挙

平成12年12月

II. 会計報告

(単位：円)

収入の部

科目	予算額	決算額
支部交付金	583,553	553,380
銀行利息	0	612
小計	583,553	553,992
前年度繰越金	779,189	779,189
合計	1,362,742	1,333,181

支出の部

科目	予算額	決算額
支部総会助成金	400,000	400,000
支部総会招待講演助成金	100,000	100,000
九州電顕技術者研究会助成金	50,000	50,000
支部主催セミナー助成金	200,000	0
通信連絡費	100,000	39,770
印刷費	100,000	0

事務費	10,000	4,650
予備費	10,000	0
小計	970,000	594,420
次年度繰越金	392,742	738,761
合計	1,362,742	1,333,181

◇平成13年度支部事業計画・予算

《北海道支部》

I. 事業計画

1. 役員会を年2～3回開催する。
2. 支部総会・学術講演会を例年のとおり2月に開催する。
3. 医学・生物学/SEM/超高压電顕の各研究会および講演会の開催をはかる。
4. その他

II. 予算

(単位：円)

収入の部

科目	予算額
支部割当金	297,873
雑入金	100
前年度繰越金	56,565
合計	354,538

支出の部

科目	予算額
総会・学術講演会	250,000
研究会・講演会費	60,000
会議費	5,000
交通費	30,000
通信費	5,000
予備費	4,538
合計	354,538

《関東支部》

I. 事業計画

1. 役員人事

支部長：板東義雄（物質・材料研究機構物質研究所）

副支部長：山科正平（北里大学医学部解剖）

庶務幹事：小暮敏博（東大大学院理学系研究科）

会計幹事：井上金治（埼玉大学理学部）

指名幹事：三留正則（物質・材料研究機構物質研究所）

監事：石田宏一（帝京科学大理工学部）

広瀬治子（帝人(株)）

2. 支部総会、支部講演会の開催

平成14年3月16日

3. 幹事会（4回）、常任幹事会（5回）

4. 電子顕微鏡試料作製・観察技術講習会の実施

5. ホームページの拡充

6. その他

II. 予算

(単位：円)

収入の部	
科目	予算額
繰越金	2,000,000
支部割当金	845,870
支部講演会収入	1,300,000
実技講習会収入	1,000,000
雑収入	5,000
合計	5,150,870
支出の部	
科目	予算額
通信費	500,000
行事費	200,000
会議費	300,000
交通費	700,000
印刷費	150,000
事務委託費	300,000
支部講演会	1,300,000
支部実技講習会	910,000
予備費	100,000
繰越充当金	690,870
合計	5,150,870

《関西支部》

I. 事業計画

1. 幹事会

第1回幹事会：平成13年4月28日（土）日本電子(株)大阪支店会議室

第2回幹事会：平成13年7月21日（土）徳島大学青藍会館

第3回幹事会：平成13年12月1日（土）日本電子(株)大阪支店会議室

第4回幹事会：平成14年4月（平成14年度第1回幹事会と合同）

2. 支部評議員会

平成13年7月21日（土）徳島大学青藍会館

3. 支部総会

平成13年7月21日（土）徳島大学青藍会館

4. 特別講演会

平成13年7月21日（土）徳島大学青藍会館

セッションI

・神経疾患モデルおよび遺伝子操作動物におけるニューロフィラメントの構築

後藤隆洋（甲子園大）

・電子顕微鏡と胃腸炎ウイルス学—特に Norwalk virus について（仮題）

大石 功（大阪府立公衆衛生研究所）

・フーリエ変換で細胞の形をはかる

藤田 稔（京大・農学研究科）

セッションII

・超高圧電子顕微鏡における電子線トモグラフィ—（仮題）  
鷹岡昭夫（大阪大・超高圧電顕センター）

・カーボンナノチューブからの電界電子放出（仮題）

大下昭憲，畑 浩一（三重大・工）

・X線マイクロアナリシスの新しい技術（仮題）

副島啓義（島津総合科学研究所）

5. 外国人講演会（5件程度を予定）

6. 電子顕微鏡技術研究会

平成13年11月

実行委員長：白倉治郎（名古屋大・医）

7. 支部長・副支部長選挙

平成14年2月

8. 監査

平成14年4月

II. 予算

(単位：円)

収入の部	
科目	予算額
補助金受け入れ	
支部割当金収入	625,842
雑収入	
受取利息	1,000
前期繰越額	1,290,704
合計	1,916,546
支出の部	
科目	予算額
支部事業費	
通信費	150,000
印刷費	700,000
事務費	100,000
会場費	50,000
会議費	50,000
総会費	50,000
交通費	370,000
外人講演会費	100,000
研究会補助金	250,000
予備費	100,000
支出合計	1,290,000
次期繰越額	626,546

《九州支部》

I. 事業計画

1. 第43回支部総会ならびに支部評議員会の開催

日時：平成13年12月1日（土）

場所：大分医科大学

## 2. 学術講演会の開催

日 時：平成13年12月1日（土）  
場 所：大分医科大学 キャンパス臨床中講堂  
会 長：加藤征治（大分医科大学）  
特別講演：未定

## II. 予算

（単位：円）

収入の部	
科 目	予 算 額
支部交付金	357,214
前年度繰越金	738,761
合 計	1,095,975
支出の部	
科 目	予 算 額
支部総会助成金	400,000
支部総会招待講演助成金	100,000
九州電顕技術者研究会助成金	50,000
支部主催セミナー助成金	200,000
通信連絡費	100,000
印刷費	100,000
事務費	10,000
予備費	10,000
小 計	970,000
次年度繰越	125,975
合 計	1,095,975

## ◇平成12年度第4回理事会議事要旨

日 時：平成13年3月24日（土）14：00～17：00

会 場：学士会館（東京都千代田区）

出席者：（理事）石川春律，飯島澄男，牛木辰男，古屋一夫，西山彌生，森博太郎，砂子沢成人，臼倉治郎，田中信夫，村田長芳，市野瀬英喜，畑 俊夫  
（監事）坂 公恭，高田邦昭

オブザーバー：柴田洋三郎（第57回学術講演会実行委員長），中村桂一郎（同 幹事），平井圭一（8th APEM 委員長）

委任状出席：（理事）井上芳郎，長船哲齊，弘津禎彦

### 【報告事項】

1. 庶務報告
2. 会計報告：2月末現在の会計状況が配布資料に基づき報告された。また、以下の会計処理を行いたい旨提案があり、承認された。①各事業収支結果より学術振興積立預金取崩については1,589,000円とする。②JEM については来年度より新契約となり、OUP への編集費2,000,000円が必要なくなる。
3. 欧文誌編集委員会報告
4. 和文誌編集委員会報告：和文誌編集進捗状況が報告された。なお、36巻より郵送費軽減のため紙質が薄手となるこ

と、および、37巻よりページ減（80P から 70P 企画）に伴う記事内容変更について編集委員会内にワーキンググループを設置し、検討している旨報告があった。

5. 技術認定委員会報告：2000年度認定試験結果報告
6. 第57回学術講演会準備状況報告
7. 第12回サマースクール進捗状況報告：8月22～24日に岩手医科大学で行われる第12回サマースクール準備状況について報告が行われた。実技中心の小人数を対象とした講義を行うなど従来の運営方法を大幅に変更している旨説明があり、了承された。
8. 第46回シンポジウム進捗状況報告
9. 第58回学術講演会準備状況報告
10. 関西支部報告：平成13・14年度関西支部評議員選挙が終了したこと、および、選挙により平成13年度は石村和敬支部長，下山 宏副支部長と決定した旨報告があった。
11. 日本臨床電子顕微鏡学会報告：平成13年度本会学術講演会および臨床電子顕微鏡学会大会において両会のジョイントセッションを企画している旨報告があった。
12. 金研連に関する報告：平成12年度金属連合協議会会議報告

### 【議 題】

1. 会長・役員・評議員選挙の件：選挙管理委員長より標記選挙の開票結果について報告があり、異議なく承認され、総会へ諮ることとした。
  - ・平成13～14年度会長候補者：飯島澄男
  - ・理事候補者：脇田 稔，石川 晃，大野伸一，長船哲齊，倉田博基，鈴木季直，古屋一夫，石村和敬，井出千束，後藤俊幸，田中信夫，森博太郎，猪口哲夫
  - 監事候補者：高田邦昭，内山安男
  - ・平成13～14年度評議員240名の承認
2. 欧文誌編集委員会委員交代の件：欧文誌編集委員会からの推薦に基づき、2001・2002年度欧文誌編集委員を委嘱することとした（15ページ参照）。
3. 技術認定委員会委員交代の件：技術認定委員会からの推薦に基づき、2001・2002年度技術認定委員を委嘱することとした（15ページ参照）。
4. 和文誌編集委員会委員交代の件：任期満了となる井出千束・伊藤隆夫，鷹岡昭夫委員の後任に磯田正二・溝口 明・森博太郎会員を推薦する旨説明があり、委嘱することとした。
5. 出版委員会の件：高田出版委員長より出版ガイドライン案および今後の出版委員会のあり方について説明があった。審議の後、平成13年度より学術運営委員会が従来の出版委員会の業務を行うことから、出版委員会は平成12年度をもって業務を終了することとした。
6. 平成13年度分科会・研究部会の件：承認（22ページ参照）。
7. 平成13年度事業計画の件：承認。なお、平成13年度に

は会員名簿を作製することとし、作製方法については今後協議していくこととした。

8. 平成13年度収支予算の件(内規改正の件含)：学会財政再建の為に平成13年度より各事業毎に収支を検討していくこと、また、各事業・管理費についても大幅に見直しを進めていく旨説明があった。そのひとつとして、「支部割当金に関する内規」第一条の変更について提案が行われ、承認された(16ページ参照)。続いて、標記予算が説明され、承認された。

9. 名誉会員推薦の件：内規に基づき、保坂康弘元会長について名誉会員の資格審査が行われ、これを適当と認め、総会に諮ることとした。

10. 8th APEM の件：平井委員長より準備状況が説明された。また、組織委員について協議が行われ、理事会における意見をもとに準備委員会において検討することとした。

11. 国際会議に関する件：2006年の ICEM について意見交換が行われた。なお、次回総会において日本が立候補することの再確認をすることとした。

12. 学会名称に関する件：牛木常務理事より学会名称変更に係る意向調査結果について説明された。調査結果をもとに出席理事の意見を聴取し、協議を行った。討議の結果、調査結果を重視し、平成13年度総会において、学会名称変更をはかることとした。「日本顕微鏡学会」を新学会名称候補とし、関係省庁と相談し、進めていく旨の提案を行うこととした。なお、総会へはかかる前に学会名称変更が可能かどうかを関係省庁に確認をとることとした。

13. 平成13年度総会議案提出の件：承認。報告・議題は以下の通り。

1. 学会賞(瀬藤賞)受賞者報告
  2. 論文賞授賞報告
  3. 技術功労賞受賞者報告
  4. 奨励賞受賞者報告
  5. 8th APEM の件
  6. 平成12年度事業報告の件
  7. 平成12年度収支決算報告の件
  8. 監査報告
  9. 平成13年度事業計画の件
  10. 平成13年度収支予算の件
  11. 名誉会員推薦の件
  12. 学会名称変更の件
  13. 会費滞納者除名の件
  14. 次期役員選任の件
  15. その他
14. 入会・退会の件  
牛木常務理事より2000年12月～2001年2月分の会員異動について報告が行われ、承認された。

入会：正会員 16, 学生 1, 賛助 1  
退会：正会員 26, 学生 1, 賛助 0

15. 協賛等の件：5件の協賛・掲載等を承認

#### ◇平成12年度第5回理事会議事要旨

日時：平成13年5月9日(水) 15:30～18:30

会場：アクロス福岡(福岡市)

出席者：(理事)石川春律, 飯島澄男, 牛木辰男, 古屋一夫, 西山彌生, 森博太郎, 砂子沢成人, 白倉治郎, 藤吉好則, 村田長芳, 弘津禎彦, 市野瀬英喜  
(監事)坂 公恭, 高田邦昭  
(理事：委任状出席)井上芳郎(北海道支部長兼任), 長船哲齊, 田中信夫, 畑 俊夫

オブザーバー：柴田洋三郎(第57回学術講演会実行委員長), 中村桂一郎(第57回学術講演会実行委員会幹事), 佐藤洋一(サマースクール実行委員長), 大野伸一(技術認定委員長), 永山在明(九州支部長), 平井圭一(8th APEM 組織委員長)

#### 【報告事項】

1. 庶務報告
2. 欧文誌編集委員会報告：平成13年度科研費補助金「720万円」が内定した旨報告があった。また、PDF版にてJEM誌へのアクセス、および電子投稿を現在検討中である旨報告があった。
3. 和文誌編集委員会報告：和文誌の編集進捗状況報告が行われた。なお、竹田精治会員が委員を退任し、代わって高井義造会員が新たに編集委員として推薦され、承認された。
4. 技術認定委員会報告：2001年10月13日に行われる技術認定試験について報告があった。また、認定試験問題の解答を公開することについて意見があり、今後、同委員会において検討していくこととした。
5. 各支部報告
6. 学術運営委員会・研究部会報告
7. 第11回電子顕微鏡大学報告
8. 第12回電子顕微鏡サマースクール進捗状況報告：佐藤実行委員長より8月22～24日に岩手医科大学で行われる標記スクールの準備状況が報告された。なお、予算・運営方法等についての以下の点が説明された。
  - ①実技中心とし、参加人数は総計40名までとする。
  - ②地方年開催のため、参加者にとって旅費等の負担が増えるため、参加費を抑えた。
  - ③②の事由より総予算を縮小することにより、岩手医科大学のスタッフが中心となって全体講演を行うこととした。
9. 第46回シンポジウム進捗状況報告：古屋実行委員長より11月14～16日に物質・材料研究機構(つくば市)で行われる標記シンポジウムについて準備状況報告が行われた。なお、本シンポジウムは物質・材料研究機構主催のシンポジウムと一部合同で行われる旨併せて説明があった。
10. 第58回学術講演会進捗状況報告
11. JABEEに関する報告：日本技術者教育認定機構

(JABEE) に関して、常務理事会での検討結果が報告された。「本会は JABEE に係わる諸事項の調査・検討・提案を、①応用物理分野、②材料分野について他学会と合同で今後検討していく」、「①応用物理分野については山本直紀会員が、②材料分野については古屋常務理事が窓口になり、対応していく」旨の説明があった。

#### 【議 題】

1. 出版ガイドラインの件：高田委員長よりガイドライン案が提示され、協議の結果、一部修正の後、以下のとおり、承認された。

##### 「出版に関するガイドライン」

1) 社団法人日本電子顕微鏡学会を著作権者とする出版はこのガイドラインに従うものとする。

ただし、本学会機関誌 (Journal of Electron Microscopy・電子顕微鏡) および本学会主催の集會予稿集・要旨集は除く。

2) 上記出版を企画する学会内組織または学会会員は、企画の段階で、出版の目的、出版物の題名、概要、執筆者の各予定項目を明示して、学術運営委員会に申請する。出版作業が著しく進行した段階での申請は原則として認めない。

3) 申請を受けた学術運営委員会は、各項目について審査のうえ、申請者に助言を与える。

4) 出版の可否は学術運営委員会の提案に基づいて理事会が決定する。

5) 出版にかかる費用は原則として本学会からは支出しない。ただし、印税額を限度として補助をすることができる。

6) 出版物の印税は本学会に納入される。

2. 各賞の件：牛木常務理事より、各賞見直し提言 (常務理事会) 案が出され、協議の結果、一部修正の後、次期理事会へ申し送ることとした。

3. 8th APEM の件：APEM 準備委員会より、組織委員候補者が推薦され、平井圭一組織委員長をはじめ、これが承認された。なお、一部委員について変更を生じる可能性があることから、追加等については組織委員長に一任することとした。

4. 平成12年度事業報告の件：承認の後、総会に諮ることとした。

5. 平成12年度収支決算報告の件：承認の後、総会に諮ることとした。なお、平成12年度決算にあたっては、①学術振興積立預金取崩を各事業の収支が好転していることから1,589,000円とすること。②OUP との契約が2001年度より変更されることから従来次年度払としていた editorial cost を平成12年度中に全てを精算するため、同費用が平成12年度は2年分計上される旨補足説明が行われた。

6. 監査報告：坂監事より4月21日に行われた監査結果について「法令及び定款に照らして正当」である旨の報告が行

われた。

7. 平成13年度事業計画の件：承認の後、総会に諮ることとした。

8. 平成13年度収支予算の件：承認の後、総会に諮ることとした。

9. 学会名称の件：前回理事会での決定から、学会名称変更について本学会の所轄官庁である文部科学省と相談し、「納得できる理由であれば変更は可能」との返答を得た旨古屋常務理事より報告があった。これを受け、牛木常務理事より「①学会名称変更を行う ②「日本顕微鏡学会」を新学会名称第一候補とする ③関係省庁と相談し、①・②の事項を含めた定款変更を平成14年度総会において議決する」旨の常務理事会案が提案された。討議の結果、これを承認し、総会へはかることとした。

10. 会費滞納者除名の件：2年以上会費を滞納している会員へ会費納入を働きかけ、8月末日までに納入無き会員に対しては定款第14条に基づいて除名する旨の提案がされ、承認し、総会に諮ることとした。

11. 総会・評議員会運営の件：総会進行案が提出され、了承された。

12. 次年度への申し送り事項の件：平成13年度理事会への申し送り事項に関し、説明が行われた。審議の後、以下の項目について申し送ることとした。

①学会の運営

②会員数の維持・拡大

③学会財政

④役員・評議員の選挙について

⑤国際会議の件

⑥学会名称の件

⑦学術講演会の運営方法について

⑧学会賞等選考について

⑨分科会・研究部会

⑩JEM 誌に関して

⑪学会のホームページ

13. 入退会の件：2001年3月分の会員異動について承認された。

入 会：正会員 17, 学生 4, 賛助 0

退 会：正会員 21, 学生 1, 賛助 0

14. 協賛等の件：4件の協賛・掲載等を了承した。

#### ◇平成13年通常総会議事要旨

平成13年5月11日 12時よりアクロス福岡 (福岡市) において平成13年通常総会を開催した。

定足数：121名 (役員および評議員総数240名の1/2)

出席者：195名 (うち書面による出席者87名)

第1号議案 平成12年度事業報告の件：承認

第2号議案 平成12年度収支決算報告の件：承認

第3号議案 平成13年度事業計画の件：承認

第4号議案 平成13年度収支予算の件：承認

第5号議案 名誉会員推薦の件：定款9条に基づき、保坂康弘会員を名誉会員へ推薦する旨の説明がされ、満場異議無く承認された。

第6号議案 学会名称変更の件：会員による「学会名称変更に係る意向調査」結果について説明が行われた。続いて「①学会名称変更を行う ②「日本顕微鏡学会」を新学会名称第一候補とする ③関係省庁と相談し、①・②の事項を含めた定款変更を平成14年度総会において議決する」という理事会案が提示された。審議の後、満場異議無く承認された。

第7号議案 会費滞納者除名の件：平成11年度から会費を滞納している会員を定款14条に基づいて除名する旨の説明が行われ、満場異議無く承認された。除名は平成13年9月1日をもって行うこととした。

第8号議案 役員選任の件：議長は標記議案について、本日の総会終了をもって辞任する理事および監事並びに新任理事・監事候補者について説明を行い、満場異議無く承認された。辞任および新任の理事・監事は次のとおりである。

(辞任理事) 石川春律、飯島澄男、牛木辰男、古屋一夫、西山彌生、森博太郎、井上芳郎、砂子沢成人、長船哲齊、藤吉好則、臼倉治郎、田中信夫、村田長芳、弘津禎彦、市野瀬英喜、畑 俊夫

(辞任監事) 坂 公恭、高田邦昭。

(新任理事候補者) 飯島澄男、脇田 稔、石川 晃、大野伸一、長船哲齊、倉田博基、鈴木季直、古屋一夫、石村和敬、井出千束、後藤俊幸、田中信夫、森博太郎、猪口哲夫

(新任監事候補者) 高田邦昭、内山安男

続いて議長は定款16条により新任理事14名による会長、副会長および常務理事の互選を求め、総会を一時中断する旨、出席者の了解を得た。理事は互選の結果を次のとおり議長に報告し、議長は総会の再開を宣し、理事互選結果を報告し、満場異議無く承認された。

会 長：飯島澄男

副会長：井出千束

常務理事：古屋一夫、大野伸一、森博太郎、脇田 稔

以上で議案全ての審議を終了し、議長は13時30分に閉会を宣した。

#### ◇平成13年度第1回理事会議事要旨

日 時：平成13年5月12日(土) 16：00～19：00

会 場：アクロス福岡(福岡市)

出席者：(理事) 飯島澄男、井出千束、古屋一夫、大野伸一、森博太郎、脇田 稔、石川 晃、石村和敬、猪口哲夫、長船哲齊、倉田博基、後藤俊幸、鈴木季直、田中信夫

オブザーバー：佐藤洋一(第12回電子顕微鏡サマースクール実行委員長)、木下智見(第57回学術講演会準備委員長)、永山在明(九州支部長)、板東義雄(関

東支部長)、弘津禎彦(和文誌編集委員長)

委任状出席：(監事) 高田邦昭、内山安男

#### 【議 題】

1. 平成13年度事業計画の件：承認

2. 平成13年度収支予算の件：承認。また、学会の財政状況について併せて説明が行われた。

3. 会費滞納者除名の件：該当者リストが回覧され、納入期限を8月末日までとし、それまでに会費納入の意志無き場合は除名することが了承された。

4. 前年度よりの申し送り事項に関する件：平成12年度理事会からの申し送り事項が配布資料に基づき説明された。意見交換の後、各事項について受理・対処していくこととした(引継ぎ事項は第5回理事会議事録30ページ参照)。なお、関連学会(日本臨床電子顕微鏡学会)からの理事会へのオブザーバー出席については、同会から推薦された畑前理事の出席を了承した。また、総会において学会名称を変更することが決定したことを受け、今後、名称および定款変更について検討を行い、関係省庁と相談していく旨説明があった。

5. 評議員追加承認の件：平成13年総会において役員を辞任した以下の会員を評議員に委嘱することが提案され、承認された。また、総会において新たに役員となった会員は評議員ではなくなる旨併せて説明された。

「新評議員」石川春律、牛木辰男、西山彌生、井上芳郎、砂子沢成人、藤吉好則、臼倉治郎、村田長芳、弘津禎彦、市野瀬英喜、畑 俊夫、坂 公恭

6. 顧問推薦の件：慣例により石川前会長、ならびに任期のきれた廣澤元会長を、顧問に推薦したい旨提案があり、定款26条に則り審議した結果、承認され、委嘱することとした。

7. 役員等旅費の件：役員旅費リストが提出され、了承した。

8. 年間予定表の確認：承認

9. 会員名簿の件：古屋常務理事より会員名簿のスケジュール等について説明があった。内容について、意見の交換を行い、自宅住所掲載にあたっては会員の意向を尊重すること等の意見が出された。これらの意見をもとに、内容・調査方法については、常務理事会で検討し、作業を進めていくこととした。

10. 8th APEMに係る件：2004年に開催される8th APEMについての概要ならびに第1回組織委員会(5月9日)について説明が行われた。続いて本会議運営について意見の交換が行われ、学会と組織委員会との間で食い違いのないよう、飯島会長・井出副会長が窓口となり、対応していくこととした。

11. IFSEMに係る件：2006年国際電子顕微鏡学会議への立候補のため、早急に招致活動を行う必要があること、ならびに開催地・会議責任者の選定を行う必要があることの説明があった。協議の結果、今後、書面にて理事会で検討するとともに、最終的には6月30日の常務理事会で結論が出せるよ



う対処していくこととした。また、2002年 IFSEM 役員改選に伴い、本会よりその役員を推薦するか否かについても併せて検討していくこととした。

【報告】

1. 和文誌編集委員会報告
2. 欧文誌編集委員会報告
3. 技術認定委員会報告：技術認定試験の概要等が報告された。また、委員会として、今後、解答公開について検討し

ていく旨説明があった。

4. 平成13年度各支部事業計画・予算報告：各支部の平成13年度事業計画および予算について報告が行われた。
5. 第11回電子顕微鏡大学報告
6. 第12回サマースクール進捗状況報告
7. 第46回シンポジウム進捗状況報告
8. 第58回学術講演会進捗状況報告